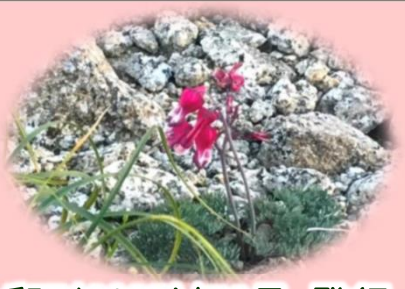
最終号

こまくさ通信 第77号



天竜川上流河川事務所　飯島砂防出張所

令和7(2025)年3月 発行

64年の歴史に終止符

飯島砂防出張所を『廃止』

飯島砂防出張所では、これまで天竜川の支川　太田切川・中田切川・与田切川・片桐松川・新宮川で砂防工事を実施してきました。今回中部地方整備局による令和7年度の組織改正により飯島砂防出張所の「廃止」が決定し、64年の歴史に幕を閉じることとなりました。

出張所の管内で64年の間に整備された砂防施設は、砂防堰堤35基、床固1基、床固工群4箇所、砂防林2箇所、渓流保全工1箇所にのぼり、現在事業継続中の箇所もあります。

これらの実績は長年にわたり砂防事業に携わってこられた諸先輩方、皆様方の勤勉、忍耐、知識、犠牲そしてなによりも土砂災害に立ち向かう不屈の精神と地域に対する愛により成し遂げられたものであり、飯島砂防出張所の最後に立ち会った者として皆様に畏敬の念を感じずにはいられません。飯島砂防出張所に勤務された職員は出張所長23名、専門職1名、事務係長15名、技術係長21名、技術職員1名、主任3名をのべで数えます。すでにお亡くなりになられた方もいらっしゃいますが、皆様方の足跡はしっかりとこの地に残っており、後に続く者の道しるべとなることでしょう。

「こまくさ通信」は平成15年度の第1号創刊以来、今回の第77号が最終号となります。今まで編集に携わってこられた方々おつかれさまでした。これまでお読みいただきありがとうございました。

飯島砂防出張所　略歴

1961	昭和36年6月	梅雨前線豪雨による大災害(三六災)
〃	昭和36年11月	飯島砂防出張所設置(国鉄飯田線飯島駅の近く)
1962	昭和37年11月	管内で最初の直轄砂防堰堤が完成(松川砂防堰堤)
1963	昭和38年11月	与田切川で最初の直轄砂防堰堤が完成(飯島砂防堰堤)
1967	昭和42年1月	中田切川で最初の直轄砂防堰堤が完成(中田切砂防堰堤)
〃	昭和42年2月	太田切川で最初の直轄砂防堰堤が完成(太田切砂防堰堤)
1970	昭和45年12月	新宮川流域で最初の直轄砂防堰堤が完成(古屋敷沢砂防堰堤)
1976	昭和51年2月	太田切床固工群に着手(現在も事業継続中)
1982	昭和57年1月	中田切第4砂防堰堤に着手
〃	昭和57年10月	本谷砂防堰堤に着手
1991	平成3年3月	与田切セル群砂防堰堤が完成
〃	平成3年5月	飯島第6砂防堰堤に着手
1996	平成8年2月	現在の出張所庁舎が完成
〃	平成8年4月	現在の庁舎へ移転
〃	平成8年9月	本谷砂防堰堤が完成
1999	平成11年3月	黒川第4砂防堰堤に着手
2001	平成13年1月	建設省から国土交通省へ名称変更
2003	平成15年4月	工事事務所から河川事務所へ名称変更
2006	平成18年2月	飯島第6砂防堰堤が完成
2009	平成21年10月	管内で最初の鋼製スリット砂防堰堤が完成(新沢第2砂防堰堤)
2011	平成23年3月	中田切第4砂防堰堤が完成
2018	平成30年1月	黒川第4砂防堰堤が完成
2025	令和7年3月	令和7年度組織改正により廃止

飯島第2砂防堰堤
S42年2月　コンクリート打設

飯島第3砂防堰堤
S45年5月
土砂積込

新沢砂防堰堤
S58年5月
生コンクリート
品質管理

飯島第3砂防堰堤
S45年5月
現場生コン
プラント

中御所砂防堰堤
S51年1月　出来形管理

与田切床固工群
S58年11月～事業中

片桐松川床固工群
H4年3月～事業中

与田切セル群砂防堰堤
H3年3月完成
R6年11月補修

黒川第2砂防堰堤
仮排水路トンネル
S46年3月

太田切床固工群
S51年2月～事業中

飯島第5砂防堰堤
建設中の土石流
S60年7月11日

中御所第2砂防堰堤
H6年3月完成

黒川第4砂防堰堤
H30年1月完成
R2年7月改修

令和7年4月から新たに　『伊南流域治水出張所』が発足します。

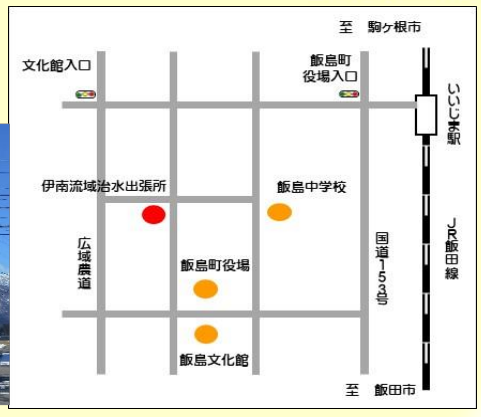
※ 同時期に、伊那出張所と三峰川砂防出張所が統合された『伊那流域治水出張所』が伊那市に発足します。こちらもよろしくお願い申し上げます。

駒ヶ根出張所と飯島砂防出張所が統合された『伊南流域治水出張所』が発足します。令和6年度まで駒ヶ根出張所が行っていた河川の業務と、飯島砂防出張所が行っていた砂防の業務を引き継いで行います。

新しい出張所の場所は、飯島町役場様の道路を挟んだ西隣(上伊那郡飯島町2527－3)です。令和6年度まで飯島砂防出張所であった庁舎を新出張所の庁舎として引き続き使用します。

出張所の道路案内看板等の更新作業が遅れていて皆様にご迷惑をおかけしますが、これまでと同様よろしくお願い申し上げます。

伊南流域治水出張所
(現)飯島砂防出張所



【河川の工事・管理区間】
- 天竜川 (33.00km):高森町万年橋～伊那市殿島橋
- 小渋川 (3.06km):天竜川合流点～小渋川第二床固
- 太田切川(2.10km):天竜川合流点～太田切橋

【砂防工事の担当区間】
- 太田切川流域(61.5k㎡)
- 中田切川流域(22.5k㎡)
- 与田切川流域(42.7k㎡)
- 片桐松川流域(28.4k㎡)
- 新宮川流域　(58.0k㎡)

太田切床固工群
太田切川

中田切渓流保全工
中田切川

片桐松川床固工群
片桐松川